

第二次小樽市観光基本計画(素案)の概要

計画策定の趣旨

第一次小樽市観光基本計画(平成18年4月実施)と同様に、国内や小樽の観光の動向、課題認識、目指すべき姿と主要施策などのほか、主要施策に対して講じる主な取組を位置づけることにより、観光施策を総合的かつ体系的にとりまとめ、今後官民が一体となった観光振興の推進体制を確立することを目的として策定します。

第1章 小樽観光 の基本的な考え方

1. 小樽観光の目指すべき姿

ホンモノの小樽とふれあう
観光客と市民がふれあい、新しい発見があり、また来たいと思える街

2. 小樽観光の課題

(1) 観光資源

(2) 受入態勢

(3) 滞在時間

(4) 情報発信

3. 小樽観光の方向性

(1) 小樽の魅力を深める(独自性を活かした魅力発掘で、多様化するニーズに対応する取組)

(2) 小樽の魅力を広げる(点在する資源を"面"として活用する、広域連携による取組)

(3) 小樽の魅力を共有する(市民の意識改革を図り、市民が積極的に参加する取組)

第2章 主要施策

(1) 小樽の魅力を深める

- ①キャンペーン等各種情報発信の強化②小樽の"四季"の魅力発信③歴史・文化・芸術の体験プログラムの構築④小樽に点在する観光資源ニーズを捉えた磨き上げと発掘
- ⑤観光客が快適に過ごせる環境整備⑥日本遺産認定に向けた活動の推進
- ⑦滞在型観光に向けたプランの拡充⑧ロケ地誘致活動の推進
- ⑨小樽の"山"の知られざる魅力発信⑩水辺を活かした誘客活動の推進

(2) 小樽の魅力を広げる

- ①DMO構築を視野に入れたアプローチ②広域的な観光圏の形成

(3) 小樽の魅力を共有する

- ①外国人観光客との相互理解②観光への意識を高める活動の推進
- ③教育カリキュラム編成に向けた提案④市民が観光客とふれあう機会の提供

第3章 小樽観光 推進のために

1. 計画推進の主体と役割

(1) 市民の役割(2) 観光事業者の役割(3) 観光関連団体の役割(4) 経済界の役割(5) 行政の役割

2. これからの小樽観光の推進体制づくり

3. 本計画の取組状況の検証